

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 3 観光資源をネットワーク化する

担当課名	環境産業部 観光課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目		03	観光費

事業名	<b>観光資源ネットワーク化事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	滞周遊型観光の推進事業 3 (瀬戸内しま博覧会負担金)	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	国内からの観光客	○沿岸部の周辺地域との連携により滞在・回遊型観光の観光客が増加する。 ○広域周遊ルートの形成により滞在型の観光地となる。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
博覧会実行委員会	構成員 広島県・愛媛県ほか	○実行委員会負担金の支出 ○実行委員会での広報宣伝、誘客活動、情報交換及び事業調整 ○観光素材の掘り起こしや観光ルートの企画設定など

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○瀬戸内しまのわ2014実行委員会負担金（H25新規） 瀬戸内海国立公園指定80周年を記念して、広島県と愛媛県及び両県の沿岸部の市町で構成する協議会により、瀬戸内海の活性化を目的とした博覧会を開催するため、次の負担金を支出した。 大規模に集客を図るメインイベント、各市町等公的な団体が実施する自治体企画イベント及び地域住民グループ、企業等が実施する民間企画イベントを行った。		
	【歳出】	瀬戸内しまのわ2014実行委員会負担金 ※H26年度は840,000円負担予定(二か年で1,388,000円)	548,000 円

コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	財源内訳	直接事業費 A		548,000	
国庫支出金					
県支出金					
借入金(市債)					
その他(使用料など)					
	市(市税など)		548,000		
	人件費(按分) B		0.10 人 848,600		
	総事業費(A+B)		1,396,600		
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
	② 市民1人当たり		12		

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	観光客誘客活動		—	—	—	—
成果	宮島地域の総観光客数	万人	488	360	497	330	